

千年サンゴが見れる対策を



横尾 政明 議員

ダイビング事業が廃止となり現在に至っている。千年サンゴは牟岐町にとって大きな観光資源である。観光協会が業務を引き継ぐのがよいと思うが、現体制では実現不可能である。町が対策を立てなければならぬと考える。

今後も保全活動を続けるために、後継者としてのダイバーの育成が必要である。この貴重な観光資源が、一般人も見られるように、交流人口増加のためにも、重要課題として取り組んでもらいたい。

答 福井町長
千年サンゴを多くの人に見ていただきたいと切望している。しかし、ダイビング事業の再開には、漁業組合等漁業関係者の理解を得

ることが不可欠である。県からも密漁に対する注意喚起情報があり、現時点では、理解を得ることは難しいと考えている。

千年サンゴを見てもらうのであれば、保全活動に参加してもらえないが、逆に希少性に訴えて、さらなる観光振興にも役立てていきたい。



「千年サンゴの日」制定1周年記念式典（12月7日）

意見書(要旨)

◎参議院選挙における合区
の解消に関する意見書

提出者 榎谷議員
賛成者 森 議員
横尾議員

合区による選挙制度を見直し、法律のみならず憲法の改正も視野に入れて、都道府県単位による代表が国政に参加する仕組みを速やかに構築すること。

(採決の結果、原案可決)

◎地方議会議員の厚生年金
制度への加入を求める意見書

提出者 一山議員
賛成者 森 議員

国民の幅広い政治参加や地方議員における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現すること。

(原案可決)

お気軽に皆さんのご意見ご感想をお寄せください。
電話 七二一三四二一
FAX 七二一七七一六
「広報編集委員会」までお願いします。

編集後記

この広報135号が届くころには、少しは暖かくなり、春の息吹を感じられるようになってきていることでしょうか。

さて、この広報を読まれてお分かりのように、昨年12月議会では、ゴミ焼却場改築にあたって町長と議会が対立しました。

町長は現地で改築し、廃熱を利用した銭湯や温水プールの設置などを主張。議会は、「現地での改築に反対し、他町に移転を求める決議」を全会一致で採択したにも関わらず、町長は最後まで方針を変えることはありませんでした。

しかし、その数日後、町長は現地での改築を諦めたとの新聞報道が。この問題の今後の成り行きは、町民として無関心ではられません。引き続き注視していただきたいと思えます。